

作成日 2005年09月27日  
改訂日 2008年04月01日  
改訂日 2009年10月01日  
改訂日 2010年12月30日

## 製品安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名 ポロンク粉剤DL  
会社名 保土谷UPL株式会社  
住所 〒103-0027 東京都中央区日本橋三丁目14番5号  
担当部門 営業部  
電話番号 03-6225-3194 FAX番号 03-6225-3197  
メールアドレス hodogayaupl@hodogaya-upl.com  
緊急連絡先 保土谷UPL株式会社 営業部  
電話番号 03-6225-3194  
整理番号 0211

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性	自然発火性固体	区分外
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分外
	急性毒性（経皮）	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	区分外
	眼損傷／眼刺激性	区分外
	皮膚感作性	区分外
	発がん性	区分1
	特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	区分1（呼吸器系）
特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	区分1（呼吸器系、腎臓）	
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	区分1

\*記載がないものは、分類対象外または分類できない

GHS ラベル要素：

絵表示



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報：発がんのおそれ

臓器（呼吸器系）の障害

長期にわたるまたは反復暴露による臓器（呼吸器系、腎臓）の障害  
 水生生物に非常に強い毒性

注意書き：

【予防策】

使用前に取扱い説明書を入手すること。  
 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
 指定された個人用保護具を使用すること。  
 取扱いの際には飲食または喫煙をしないこと。  
 取扱い後はよく手を洗うこと。  
 粉じん／ヒューム／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。  
 環境への放出を避けること

【対応】

気分が悪い時は、医師に連絡すること。  
 暴露または暴露の懸念がある場合は、医師の診断を受けること。  
 漏出物を回収すること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物・容器は自治体の規則に従って廃棄すること。

### 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名 エトフェン<sup>®</sup> ロックス 2-(4-エトキシフェニル)-2-メチル<sup>®</sup>ピペリド 3-フェノキシベンゾ<sup>®</sup>ジエチル  
 DEP ジメチル-2,2,2-トリクロロ-1-ヒドロキシエチルホスホネート

別名 エトフェン<sup>®</sup> ロックス／DEP 混合製剤

成分（別名）	エトフェン <sup>®</sup> ロックス	DEP（トリクロロホ）	結晶質—石英	鉱物質微粉等
含有量(%)	0.3%	4.0%	93.2%	2.5%
化学特性（示性式）	C <sub>25</sub> H <sub>28</sub> O <sub>3</sub>	C <sub>4</sub> H <sub>8</sub> Cl <sub>3</sub> O <sub>4</sub> P	SiO <sub>2</sub>	-
官報公示整理番号 化審法	(3)-3981	対象外	(1)-548	-
安衛法	4-(14)-178	2-(3)-110	-	-
CAS番号	80844-07-1	52-68-6	14808-60-7	-

化学物質管理促進法（PRTR法）

： 第1種指定化学物質第64号 エトフェン<sup>®</sup> ロックス

： 第1種指定化学物質第225号 DEP

### 4. 応急措置

- 吸入した場合：被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動する。  
 呼吸していて嘔吐がある場合は、頭を横向きにする。  
 呼吸が止まっている場合、又は呼吸が弱い場合には衣類を緩め、呼吸気道を確保した上で人工呼吸（又は、酸素吸入）を行う。  
 身体を毛布などで覆い、保温して安静に保ち、直ちに医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合：汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぐ。  
 付着した製品を拭き取り、水又は微温湯で洗い流しながら石鹼を使って良く落とす。  
 外観に変化が見られたり痛みが続く場合には、速やかに医師の手当てを受ける。
- 目に入った場合：直ちに清浄な水で最低15分間洗浄した後、眼科医の手当てを受ける。

- コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。  
洗眼の際、まぶたを指で良く開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水が行きわたるように洗浄する。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄し、コップ 1-2 杯の水又は牛乳を飲ませて、直ちに医師の手当てを受ける。  
可能であれば、指を咽喉に差し込んで吐き出させる。  
被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。  
毛布などで保温して安静に保つ。
- 応急処置をする者の保護 : 救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。
- 医師に対する特別注意事項 : DEP の解毒剤として PAM (パム<sup>®</sup>) 及びアトピソンの併用が有効とされている。

## 5. 火災時の措置

- 消火剤 : 棒状水、霧状水、泡、粉末、二酸化炭素
- 火災時の特定の危険有害性 : 製品中に P, ハロゲン を含有しているため、火災時に刺激性、あるいは有毒なヒュームを放出する。
- 特定の消火方法 : この製品自体は難燃性であるが、周辺火災の場合以下の措置を行う。  
火災発生場所の周辺に、関係者以外の立ち入りを禁止する。  
移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。  
容器、周囲の設備などに散水して冷却する。  
消火活動は、可能な限り風上から行う。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、状況に応じた保護具を必ず着用する。  
燃焼又は高温により有毒なガスやヒュームが生成するので、呼吸保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。  
作業の際は保護具を着用し、接触および粉塵の吸入を避ける。
- 環境に対する注意事項 : 環境への影響を起ささないよう、河川などに排出しない。
- 除去方法 : 漏出したものをすくいとり、又は掃き集めて紙袋又はドラムなどに回収する。
- 二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。  
危険なく出来るときは、漏出源を遮断し、漏れを止める。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取り扱い
- 技術的対策 : 取り扱い場所は換気を良くし、その周辺での火気、火花、高温物の使用は禁止する。  
電気機器類は必要に応じ防爆構造の物を用い、静電気対策も行う。  
吸入、皮膚への接触を防ぎ、又、目に入らないように適切な保護具を着用する。  
取り扱い場所の近くには、手洗い、洗眼などの設備を設け、取り扱い後に、手、顔などをよく洗う。
- 注意事項 : 取り扱う場合は、局所排気内、または全体換気のある場所で取り扱う。

みだりに粉塵が発生しないように取り扱う。  
作業着等に付着した場合は、速やかに着替える。

#### 保管

適切な保管条件 : 直射日光を避け、火気、熱源から遠ざけて保管する。  
換気の良い冷暗所に保管する。  
密栓した容器に保管する。  
酸化剤並びに酸化性の強い物質との保管は避ける。  
安全な容器包装材料 : 貼り合わせアルミはく袋, ポリエチレン袋, クラフト紙袋

### 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 取り扱い場所には、全体換気装置を設置する。  
密閉された装置、機器、又は局所排気装置を使用する。  
取り扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設ける。

#### <エトフェンプロックス>

管理濃度 : 未設定  
許容濃度  
日本産業衛生学会(2002)  
: 3 mg/m<sup>3</sup>  
ACGIH(2002) : 未設定

#### <DEP>

管理濃度 : 未設定  
許容濃度  
日本産業衛生学会(2002)  
: 未設定  
ACGIH(2002) : 未設定

#### <鉍物質微粉>

管理濃度 : 0.29 mg/m<sup>3</sup> (遊離珪酸含有率 41%の鉍物性粉塵として)  
許容濃度  
日本産業衛生学会(2001)  
: <遊離珪酸含有量 10%以上の粉塵>  
(遊離珪酸含有量 41%として)  
吸入性粉塵 0.29 mg/m<sup>3</sup>, 総粉塵 1.2 mg/m<sup>3</sup>  
ACGIH(2002) : <結晶質シリカ> TWA 0.05 mg/m<sup>3</sup> (呼吸性粉塵として)

#### 保護具

呼吸器の保護具 : 防塵マスク, 送気マスク, 空気呼吸器  
手の保護具 : 保護手袋  
目の保護具 : 保護眼鏡, ゴーグル  
皮膚及び身体の保護具 : 安全帽, 安全靴, 保護服

### 9. 物理的及び化学的性質

#### 外観

物理的状态 : 固体  
形状 : 粉末  
色 : 類白色

臭い : 特異臭  
pH : 5.0-7.0 (1%水分散液) 1)  
物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲 : 知見なし  
引火点 : 知見なし  
爆発特性 : 知見なし  
嵩比重 : 0.80-1.10 g/cc 1)  
溶解性 : 知見なし

<本銘柄に関する情報が少ないため組成成分の情報を記載する>

<エトフェンプロックス>

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲  
沸点 : 測定不可 (200°Cで分解) 2)  
融点 : 37.4 °C 2)  
引火点 : >110 °C 2)  
爆発特性 : 爆発性なし 2)  
蒸気圧 :  $8.13 \times 10^{-7}$  Pa (25°C) 2)  
密度 : 1.172 g/cm<sup>3</sup> (20°C) 2)  
溶解性 : 水への溶解度 22.5 μg/L (20°C) 2)  
オクタール/水分配係数 : 6.9 (20°C) 2)

<DEP (トリクロロホン) >

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲  
沸点 : 298 °C (101.3 kPa) 1)  
融点 : 83-84 °C 1)  
引火点 : 146 °C (開放式, o-体), 117.2 °C (密閉式, p-体) 1)  
爆発特性 : 知見なし 1)  
蒸気圧 : 0.001 Pa (20°C) 1)  
比重 : 1.73 (20°C/4°C) 1)  
溶解性 : 水, エタール, ベンゼン, 大部分の塩素化炭化水素系溶媒に可溶. エーテル, 四塩化炭素に難溶. 石油エーテルに不溶.  
水への溶解度 15.4 g/100mL (25°C) 1)  
オクタール/水分配係数 : 0.48 1)

<鋳物質微粉>

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲  
融点 : >1,000 °C 2)  
引火点 : 不燃性  
爆発特性 : 不燃性  
嵩比重 : 0.90-1.00 2)  
溶解性 : 水に不溶

## 10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の保管条件下では安定.  
反応性 : 酸化剤等の強酸化性物質と反応する.  
DEP はアルカリ性で徐々に分解する.  
避けるべき条件 : 加熱, 強酸化性及びアルカリ性物質との混合や接触.  
危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素, ハルゲン及びリン化合物

## 1 1. 有害性情報

急性毒性	: ラット (雄, 雌) 経口 LD <sub>50</sub> >5,000 mg/kg 1) マウス (雄, 雌) 経口 LD <sub>50</sub> >5,000 mg/kg 1) ラット (雄, 雌) 経皮 LD <sub>50</sub> >2,000 mg/kg 1)
局所効果	: 知見なし
発がん性	: 区分1の成分 (結晶質一石英) を93.2%含むため、混合物として 区分1に分類される。
特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露)	: 区分1 (呼吸器系) の成分 (結晶質一石英) を93.2%含むため、混合物として 区分1に分類される。
特定標的臓器・全身毒性 (反復暴露)	: 区分1 (呼吸器系、腎臓) の成分 (結晶質一石英) を93.2%含むため、 混合物として区分1に分類される。

<その他組成成分の情報を記載する。>

<エトフェンプロックス>

局所効果	
眼刺激性	: ウキ <sup>®</sup> なし
皮膚刺激性	: ウキ <sup>®</sup> なし
感作性	: モルモット 陰性
慢性毒性・長期毒性	: ラット (雄) 経口 無影響量 3.7 mg/kg 3) ラット (雌) 経口 無影響量 4.8 mg/kg 3) マウス (雄) 経口 無影響量 33.37 mg/kg 3) マウス (雌) 経口 無影響量 32.19 mg/kg 3)
発がん性	: なし

変異原性	: Ames 試験 陰性 染色体異常試験 陰性 DNA 損傷 陰性
催奇形性	: なし
生殖毒性	: なし

<DEP (トリクロロホン)>

局所効果	
眼刺激性	: ウキ <sup>®</sup> 弱い
感作性	: モルモット 陽性
発がん性	: なし
変異原性	: Ames 試験 弱陽性 1) 染色体異常試験 陽性 1)

<鉍物質微粉>

発がん性	: <結晶質シリカ> IARC グループ 1 ACGIH A2
その他	: 長期間大量に吸入すると塵肺症を発症する可能性がある。

## 1 2. 環境影響情報

生態毒性

魚毒性 : コイ LC<sub>50</sub> (96H) 1000 mg/L 以上 1)  
その他 : ミジンコ EC<sub>50</sub> (48H) 0.00103mg/L 1)  
: 緑藻 EbC<sub>50</sub> (0-72H) 265 mg/L 1)

<本銘柄に関する情報が少ないため組成成分の情報を記載する>

<エトフェンプロックス>

残留性/分解性 : 水田状態圃場推定半減期  
沖積土 約 62 日, 火山灰土 約 79 日 3)  
畑状態圃場推定半減期  
洪積土 約 9 日, 火山灰土 約 39 日 3)

その他

公共水域等における水質評価指針値 : <0.08 mg/L

## 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し、関係法令を遵守して適正に処理する。

焼却処理を行う場合

- 1) 可燃性溶剤に溶解又は混合し、アークバーナー及びスクラバー付きインシレーターの中で焼却する。
- 2) 焼却室の温度は完全に分解させるために、800°C以上に保持する。
- 3) 焼却時に有毒ガス (NO<sub>x</sub>, ハロゲン化物, リン化合物等) が発生するので、焼却排ガスの処理対策を講ずる。

汚染容器・包装 : 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

## 1 4. 輸送上の注意

国連分類 : 国連定義の危険物に該当しない

輸送の特定の安全対策及び条件

: 容器の破損、漏れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないよう積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。  
法規に規定された基準に従って輸送する。

## 1 5. 適用法令

労働安全衛生法 : 施行令第 18 条の 2 (名称等を通知すべき有害物)  
(311 号 シカ)

水質汚濁防止法 : 施行令第 3 条 水質汚染環境項目 (リン含有量)

農薬取締法 : 登録番号 第 18070 号

## 1 6. その他の情報

引用文献 : 化学物質管理促進法 PRTR・MSDS 対象物質全データ (化学工業日報社)

- : 1) 自社データ
- 2) 他社データ (購入原料 MSDS)
- 3) 他社データ

: 製品安全データシート

ポロック粉剤 DL : 三井化学株式会社 (2003 年 11 月 1 日)

記載内容は、現時点で当社が入手した資料・データ等に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。

又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

中毒の緊急問い合わせ先 : 財団法人 日本中毒情報センター

中毒110番	一般市民専用電話 (通話料のみ相談者負担)	医療機関専用有料電話 (一件につき2,000円)
大阪 (365日、24時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365日、9時~21時対応)	029-852-9999	029-851-9999